



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 セントラルスポーツ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4801 URL <https://www.central.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 後藤 聖治  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 安部 宏 TEL 03-5543-1803  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,975	5.6	503	375.6	380	—	244	—
2023年3月期第1四半期	10,397	12.0	105	22.8	△32	—	△45	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 255百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 5百万円 (△97.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	21.84	—
2023年3月期第1四半期	△4.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	42,622	24,045	56.4	2,146.12
2023年3月期	42,565	23,901	56.1	2,133.28

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 24,037百万円 2023年3月期 23,894百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	21.00	—	10.00	31.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	22,600	5.8	1,200	40.8	900	53.2	500	92.7	44.64
通期	46,200	6.0	2,560	38.3	2,000	48.5	1,120	41.1	100.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	11,466,300株	2023年3月期	11,466,300株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	265,661株	2023年3月期	265,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	11,200,639株	2023年3月期1Q	11,200,639株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、物価上昇傾向が続くウクライナ情勢や世界的な金融引き締め等により低迷しているものの、日本経済は新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の5類移行により社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となりました。

当フィットネス業界におきましては、感染症による影響が徐々に減少し、積極的な個人消費が広がってきたことに伴い、健康やスポーツへのニーズの高まりもあり、施設利用者や入会者等が回復傾向となりました。

このような状況の中、当社グループは経営理念である『0歳から一生涯の健康づくりに貢献する』のもと、「現在価値の再強化による顧客満足度の向上」を目標とし、空調設備把握力・接客力・指導力の再強化に努めてまいりました。

店舗については、業務受託施設として4月より「札幌国際交流館」（北海道札幌市白石区）、「尼崎スポーツの森」（兵庫県尼崎市）の2店舗の運営を開始、再開業となる「東京アクアティクスセンター」（東京都江東区）と「DIS市谷スポーツクラブ」（東京都新宿区）の2店舗も営業を開始しました。一方で、5月に「セントラルフィットネスクラブ郡山店」（福島県郡山市）の運営を終了しました。その結果、第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営181店舗、業務受託60店舗の合計241店舗となりました。

会員動向については、フィットネス会員数は回復基調ですが、スクール会員数の伸び悩みにより全体の会員数は前年比99.5%となりました。

当第1四半期連結累計期間については、エネルギー価格等の高騰による厳しい経営環境下において、引き続き経営基盤の構築、安定的に利益を確保できる体制づくりを進めてまいりました。

店舗運営については、感染症の5類移行後も空調換気環境や衛生管理等に十分留意しながら運営しております。各種イベントや宿泊を伴うツアーを再開するとともに、利便性を上げるべくWEB入会システムやスタジオプログラム予約システムの充実等を進めました。効率化運営を行うとともに営業施策としてフィットネス会員継続促進、SNSを利用した紹介キャンペーンや24時間営業・夜間早朝会員の募集強化、子供向けには短期間の体験コースによる募集強化等を実施しました。

学校教育関連事業については、前年度発足した「学校・地域システム連携事業推進チーム」の活動を強化し、教育事業者へのサポート支援を積極的に進めました。その結果、学校水泳授業をはじめ体育授業や講師派遣等、全国50を超える自治体において200校以上の小・中学校より業務を受託しました。

所属選手については、競泳競技では眞野秀成が7月に福岡で開催された世界水泳選手権および9月に中国で開催されるアジア大会に日本代表として選出されました。体操競技では4月の第77回全日本体操個人総合選手権において萱和磨が銀メダル、5月の第62回NHK杯においても個人総合で萱和磨が銀メダル、三輪哲平が銅メダル、千葉健太が4位を獲得し、9月にベルギーで開催される世界体操選手権には萱和磨、三輪哲平、千葉健太の3選手が日本代表として選出されました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,975百万円（対前年同期比5.6%増）、経常利益は380百万円（前年同期は経常損失32百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は244百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失45百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し、42,622百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が増加したこと等により流動資産合計が325百万円増加したものの、有形固定資産が245百万円、投資その他の資産合計が12百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、18,577百万円となりました。その主な要因は、流動負債のその他に含まれる未払金が増加したこと等により流動負債合計が422百万円増加したものの、長期借入金が増加したこと等により固定負債合計が508百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、24,045百万円となりました。この結果、自己資本比率は56.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、本資料公開時点において、2023年5月12日の決算短信で発表しました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,997	8,373
受取手形及び売掛金	1,570	1,381
商品	272	252
貯蔵品	51	49
その他	926	1,086
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,815	11,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,085	33,101
工具、器具及び備品	5,857	5,846
土地	8,058	8,060
リース資産	6,970	6,956
その他	77	79
減価償却累計額	△34,235	△34,475
有形固定資産合計	19,813	19,568
無形固定資産	451	441
投資その他の資産		
繰延税金資産	466	449
敷金及び保証金	10,112	10,121
その他	952	948
貸倒引当金	△47	△48
投資その他の資産合計	11,484	11,471
固定資産合計	31,749	31,480
資産合計	42,565	42,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	108	92
1年内返済予定の長期借入金	1,839	1,839
契約負債	3,454	3,981
その他	4,561	4,472
流動負債合計	9,963	10,385
固定負債		
長期借入金	2,025	1,565
リース債務	4,489	4,407
退職給付に係る負債	123	125
資産除去債務	1,551	1,558
その他	509	533
固定負債合計	8,700	8,191
負債合計	18,663	18,577
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,261	2,261
資本剰余金	2,273	2,273
利益剰余金	19,807	19,940
自己株式	△623	△623
株主資本合計	23,718	23,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	42
為替換算調整勘定	137	144
その他の包括利益累計額合計	175	186
非支配株主持分	7	7
純資産合計	23,901	24,045
負債純資産合計	42,565	42,622

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	10,397	10,975
売上原価	9,402	9,574
売上総利益	995	1,400
販売費及び一般管理費	889	897
営業利益	105	503
営業外収益		
受取利息	1	5
その他	7	11
営業外収益合計	9	16
営業外費用		
支払利息	147	138
その他	0	1
営業外費用合計	147	139
経常利益又は経常損失(△)	△32	380
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32	380
法人税、住民税及び事業税	60	118
法人税等調整額	△47	17
法人税等合計	13	136
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46	243
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△45	244

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46	243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	4
為替換算調整勘定	54	6
その他の包括利益合計	51	11
四半期包括利益	5	255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5	255
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。